

2022

プラネット・プロミス

すべての人にとって持続可能な未来





CEOからのメッセージ

コンパスグループは、フードサービスのグローバルリーダーとして、人々がそれぞれの健康と地球のためにより良い食事をするよう促すことで、社会的、環境的責任を果たせるよう努めています。サステナビリティは、クライアント様や投資家が持続可能性を重視するのと同様コンパスグループにとって重要であり、2050年までに気候ネットゼロを達成するという世界的なコミットメントに向けて取り組む中で、私たちは彼らが目標を達成するための重要な一歩を踏み出す手助けをしていると確信しています。

気候変動対策、食料廃棄削減、責任ある調達などに取り組みながら、高い水準の公正性と強固なガバナンスのもと事業活動を行うことは、効果を最大に及ぼすために積極的な目標を設定し、パートナーシップを発揮することを意味します。昨年「プラネット・プロミス」を発表して以来、私たちは責任を持って調達し、人々の生活を豊かにし、気候変動のために協力を続けてきました。その報告ができることを誇りに思います。2022年には「持続可能な資金調達フレームワーク」を設立し、環境・社会・ガバナンス（ESG）目標を支援するためのグリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドの発行やその他の方法での資金調達が可能になりました。

私たちのサステナビリティ戦略は、安全に対する揺るぎないコミットメントに支えられています。事業全体で学んだ教訓を共有することは、安全面で確固たる実績を維持するための基盤となっています。

人々や地球を大切にする姿勢は、私たちの企業文化に組み込まれています。例えば、コンパスグループ・フランスは、履歴書なしで応募できる採用活動を実施しています。その代わりに、候補者はシェフの資格を得るため、2年間の研修プログラムに入ります。これほど影響力が大きく情熱的なことができるとは、信じられないことであり、謙虚な気持ちにもなりますが、私たちが人々や地球のために取り組みたいことはこれよりもはるかにたくさんあります。

私たちは、責任ある調達をし、サプライヤーにも同じような行動をとるよう働きかけています。また、より健康的な食事の選択や植物由来の選択肢を求めている消費者をインスパイアします。私たちの行動は、お客様が、自身の健康と地球の健康のために、より良い選択をするのに役立っているのです。

私たちは、EAT、テラカルタ、持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）などの組織とのパートナーシップを重視しています。これらのパートナー、クライアント様、サプライヤー、消費者と共に、私たちは、すべての人にとってより持続可能な世界の食料システムの実現に貢献していきます。

私たちのこの重要な旅に協力してくださる皆さんに感謝したいと思います。それは、地域調達の支援者、食品販路開拓のヒーローから、社会的価値創造のパイオニア、慈善団体のチャンピオン、そして献身的、情熱的に人々の幸せ、栄養、健康を維持するすべての人に対する感謝です。常に新しい課題はありますが、私たちには、新しいメニューや体験を提供する一方で、シェフが1食ごとに食品廃棄と闘うことを可能とする独自のソリューションがあることを実感できることは、喜ばしいことです。本報告書では、グローバルで取組みの概要と最近の進捗状況について紹介します。

持続可能な未来に向けた、次の大胆な一歩を楽しみにしています。

ドミニク・ブレイクモア

目次

04	プラネット・プロミス	18	調達に対するコミュニティアプローチ
05	ステーキホルダーとの連携	24	地域社会の繁栄を支援
06	サステナビリティロードマップ	28	コンパスグループ財団
08	サステナビリティ・スコアカード	30	私たちのパートナー
10	環境リーダーシップ	31	スピークアップ・ウィーアーリスニング制度



グローバル・レポーティング・イニシアチブ（GRI）およびサステナビリティ会計基準（SASB）と連携しています。詳細は[ホームページ](#)をご覧ください。

プラネット・プロミス

戦略とガバナンス

私たちは、当社のサステナビリティ戦略が、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に沿ったものであることを誇りに思っています。これらは、2030年までに持続可能な世界を実現することを目指しています。

私たちは、例えば、炭素、動物福祉、食品廃棄物に関するコミットメントやステークホルダーとの協働、事業全体でのプラントフォワード・メニューの拡大、車両の電動化など、最も影響を与えることができる9つのSDGsに貢献しています。独自のビジネスモデルにより、事業を展開する地域社会において、こうした活動を地域主導で行うことが可能となりました。

私たちは継続的な対話を通じて、グローバル、国、地域レベルでステークホルダーと関わり、その企業報告書、必須および任意の規制、ニュースやソーシャルメディアをレビューする事業分析ツールを駆使し、ステークホルダーと関わっています。

2022年には、マテリアリティ・マトリクスを見直し、従業員、投資家、クライアント様、消費者、サプライヤー、NGO、政府機関の意思決定に影響を与える主要なサステナビリティ課題を監視しました。

この見直しにより、私たちはステークホルダーやビジネスにとって最も重要な外部のESG課題を特定し、監視することが可能になりました。この結果は、私たちのアプローチや開発計画の参考となります。

ステークホルダーについての詳細は、[当社のホームページをご覧ください](#)。



ステークホルダーとの連携

「プラネット・プロミス」は、すべての人にとって持続可能な未来を実現するためのコンパスグループのグローバルなコミットメントです。倫理的で、持続可能な、そしてインクルーシブなビジネスとしての当社の価値観と、世界にポジティブな影響を与えるという当社の野心を包含しています。すべての地域で成長を加速させるにあたり、私たちは環境リーダーシップ、積極的な調達、コミュニティへの影響の3つの分野を優先していきます。

昨年、私たちは、クライアント様、消費者、従業員、ビジネスパートナー、地域社会との連携を強化しながら、グループ全体にわたりイノベーションとコラボレーションを継続して推進し続けました。この取り組みを推進するため、9月はグリーンボンドを発行しました。

この使命は、正しいことであると同時に、私たちの成長を目指す上で重要な役割を果たします。2050年までに気候変動ゼロを達成するという私たちの世界的なコミットメントに向けて取り組む中で、このミッションは私たちの行動に反映され続けるでしょう。

透明性の高い企業統治システムとサステナビリティガバナンス・システムは、グローバルな倫理と誠実性、そしてスピークアップ・ウィーアールリスニング・プログラムによって支えられている多様な地域事業において、一貫した説明責任を確保するための基盤です。

企業行動規範、倫理綱領、サプライチェーンの公正性基準、スピークアンドリッスンアップ、人権、環境、安全に関する方針については、[当社のホームページをご覧ください](#)。

コンパスグループのサステナビリティ戦略は、9つのSDGsへの貢献に重点を当てています。

 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>地元の慈善団体や組織とのパートナーシップを通して、必要とする人に余剰食品を提供することで食料不足に取り組み、地域コミュニティを支援します。</p>	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>私たちは、グローバル・ネットゼロ2050のコミットメントと意欲的な気候関連の目標を掲げ、さらにSBTIの認定を受けた2030年までに当社の事業活動（Scope 1&2）において世界全体でカーボンニュートラルにするという更なるコミットメントを持っています。</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>より健康的なメニューを増やしたり、レシピを再構築したりすることで、消費者が情報に基づいてより健康的な選択ができるようクライアント様と協力しています。</p>	 <p>14 海の豊かさを守る</p>	<p>私たちの優先事項は、食の安全性と新鮮さを損なうことなく容器を削減すること、そして容器のサプライヤーと協力して使い捨てプラスチックや化石燃料ベースのプラスチックにかわる持続可能な代替品を迅速に開発することが。</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>育成および研修制度を通じた女性従業員の支援および社外では女性が率いるサプライヤーを奨励し、コンパスグループと共に働く女性の力を高めます。</p>	 <p>15 陸の豊かさを守る</p>	<p>私たちは、グローバルに調達した持続可能な製品の使用を増やし、高リスク商品を見直し、対策を講じることで、森林破壊や土地転換のないグローバルなサプライチェーン戦略を展開します。</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>従業員は、事業の成功にとって不可欠で、私たちの最も重要な資産です。世界中の地域社会と連携して、公正かつ安全な雇用を提供し、キャリアアップの機会を提供します。</p>	 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>世界的に重大ないくつかの課題解決に貢献するため、責任ある企業として、自社が及ぼす影響を改善するためにクライアント様、サプライヤー、NGOなどのステークホルダーと協力することの重要性を理解しています。</p>
 <p>12 つくる責任つかう責任</p>	<p>2030年までに食品廃棄物を半減することにコミットし、各地域で関連施策の実施に積極的に取り組んでいます。また、環境マネジメントシステム、教育・ツールキット等の活用し、予防・リサイクル・再利用を通じて食品廃棄削減を支援します。</p>		

サステナビリティ

ロードマップ

2021

SBTとネットゼロ目標を設定
 テラカルタに参加
 ソーシャル・バリュー・インターナショナルに加盟
 スレーブフリー・アライアンスに加盟
 グループの倫理と誠実性プログラムの戦略と優先順位を刷新
 グローバルサプライヤー行動規範の導入
 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) について報告
 スピークアップ・ウィーアーリスニングのプログラムをグローバルに展開

2020

世界水産物持続可能性イニシアチブ(GSSI)に参加

2022

コンパスグループ財団設立

気候およびサステナビリティ・アドバイザーにサー・チャールズ・ゴッドフレイ教授就任

食品サービス分野初のサステナブル・ボンド発行

食料廃棄削減への取り組みを強化するため国際食料廃棄連合 (IFWC) に加盟

「Waste Not 2.0」のグローバル展開を開始

グローバル人権に関する方針を更新

2018

初のグローバル・サステナビリティ・レポートを発行
 初のストップ・フード・ウェイスト・デー - グローバル
 EATフォーラム・パートナーシップ
 ピープル、パフォーマンス、パーパス戦略の立ち上げ

2017

初のストップ・フード・ウェイスト・デー - 米国
 世界水産物持続可能性コミットメントを発表
 グローバル・パーム油コミットメントを発表

2016

グローバル・ケージフリーエッグ・コミットメントを発表

2010

持続可能なパーム油に関する円卓会議のメンバーに加盟
 CDP報告書

2004

コンパスグループが国連グローバル・コンパクトに加盟

サステナビリティ・スコアカード

私たちは、より社会的、環境的責任を果たす方法を模索し続けています。私たちは、食品の安全性と品質、ビジネスの公正性、倫理的な取引、人権の保護、家畜の福祉、サステナビリティに関する私たちの高い基準を満たすサプライヤーと提携することを優先しています。広範なサプライチェーンの混乱およびパンデミック後の復興への課題にもかかわらず、私たちはケージフリーエッグのコミットメントに取り組む積極的な姿勢を維持しており、ケージフリー液卵で成果を上げています。また、私たちが事業を展開する上位25市場では、魚介類の51%を持続可能な方法で調達しており、上位10市場では54%以上を達成しています。

昨年、ウクライナ戦争が植物油の世界的な供給に悪影響を与えたいことを筆頭に、多くのマクロ的課題に見舞われました。しかし、コンパスグループはそのような状況下でも、当該会計年度内の全世界の事業において、持続可能なパーム油に関する円卓会議（RSPO）の認証を73%で達成することができました。2023年3月までに、私たちの世界全体のサプライチェーンにおける、キッチンで使用されるパーム油の100%は、RSPO認証を受けたものであることを報告することを目標としています。

主要な原料では、認証を受けた倫理的に取引される製品を購入することにコミットします。当グループの上位25か国では、2022年に購入したコーヒーと紅茶の46%が倫理的に取引された認定品でした。また、私たちは、健康的な食品を求める消費者にインスピレーションを与えるという重要な役割も担っています。今年、90%以上の事業所で少なくとも1種類の健康的な食事の選択肢を提供しています。



食品廃棄を記録する28か国の2,650以上の事業所で食品廃棄量を28%削減

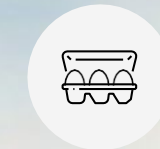


2023年3月までに100%持続可能認証を受けたパーム油をキッチンにおいて使用する

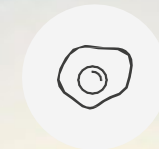


ケージフリー液状卵の調達を2倍に拡大

2022年パフォーマンス



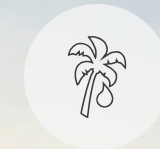
72%
ケージフリーの液体卵の割合
目標 - 2025年までに100%



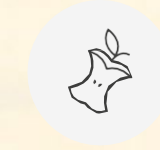
31%
ケージフリーの殻付き卵の割合
目標 - 2025年までに100%



51%
認定された持続可能な魚およびシーフードの割合
目標 - 50%



73%
持続可能なパーム油*の割合
目標 - 100%



28%
食品廃棄物の削減比率
目標 - 2030年までに50%



46%
倫理的取引の認定を受けたコーヒーおよび紅茶の割合



130万食
地域社会に寄付された食事



90%
少なくとも1種類の健康的な食事を選択できる事業所の割合

2022年のデータは、特に明記されていない限り、当グループ売上高の97%を占める上位25か国に関するものです。

パーム油に関するデータは、事業を展開するすべての国に関するものです。

環境リーダーシップ

気候ネットゼロを実現

私たちは、世界全体で2050年までに気候変動ネットゼロを達成することにコミットしており、投資家は私たちが目標に対して測定可能な進歩を遂げ、クライアント様も同じように達成することを期待しています。これを達成するためのマイルストーンとして、2030年までにscope1&2の温室効果ガス排出量についてカーボンニュートラルになることを目指しています。これは、地球の気温上昇を産業革命前の水準から1.5°C以内に抑えることを目指すパリ協定の基準に沿ったものとなります。

目標達成に向け、私たちは各ビジネスがそれぞれの地域に特化した脱炭素ロードマップを作成する権限を付与しました。

また、グローバルな規模とリーチも活用しており、メニューの見直し、プラントフォワードな食事の推進、食品廃棄物との闘い、車両の電動化などを通じて、サプライヤー、従業員、クライアント様、消費者に働きかけています。

私たちのネットゼロへのグローバルロードマップについての詳細、コンパスグループ英国&アイルランドが2030年までに気候ネットゼロを達成するというコミットメント、コンパスグループ・フランスの2040年に向けたネットゼロ・コミットメントの詳細についてはこちらをご覧ください。

当グループのネットゼロ排出目標



科学的根拠に基づく2030年までの目標が承認された



2030年までにScope1&2の直接排出量を46%削減



2030年までに購入する食品と飲料に関連するScope3排出量を28%削減



2030年までに当グループの事業活動におけるカーボンニュートラル (Scope1&2) を実現



バリューチェーン全体で2050年までに気候変動 ネットゼロを目指す



2030年までに食品廃棄物を50%削減

持続可能な選択、おいしい選択をする

植物由来のたんぱく質は通常、肉類よりも二酸化炭素排出量がはるかに少ないため環境に良く、消費者が植物由来の食事をより多く求めることは励みになります。私たちの素晴らしいシェフと調理チームは、おいしい植物由来の食事に関する最高のアンバサダーです。そのため、私たちは彼らに多様な食材の調達やEAT-ランセットの推奨に沿った果物や野菜をいかにバランスよく提供できるかを学ぶ研修を行っています。彼らの情熱は、一皿ずつ持続可能な変化をもたらすものであり、今年もシェフ感謝週間で彼らの功績を称えることができたことを誇りに思います。また、グローバルで調理フォーラムを立ち上げ、私たちが活動するすべての市場でシェフが専門知識を共有することで、互いに、そしてクライアント様に利益をもたらすことが可能となりました。この活動を基盤に、私たちのビジネスは、テクノロジーとコミュニケーションキャンペーンを活用して、より持続可能なプラネットベースの食事の選択を消費者に促すお手伝いをします。

私たちが、プラントフォワードの食事の選択肢をどのようにメニューに取り入れているか、[詳細はこちら](#)をご覧ください。





食品廃棄の削減

コンパスグループはホスピタリティ業界をリードしています。調達元での食品廃棄を削減するためにサプライヤーと協力し、シェフはキッチンでの廃棄物削減に尽力します。毎年、世界で生産された食品の3分の1が廃棄されており、2030年までに事業活動における食品廃棄物を半減させることが私たちの目標です。私たちは、教育、メニュー計画、廃棄物管理システムを通じて、食品廃棄物の削減を大きく前進させてきました。

現在、私たちはこの活動にさらに力を入れており、世界各地のビジネスで人々の目に留まるキャンペーンとスマートメーター技術を活用し、バリューチェーンのすべての人が予防と再分配を通じて食品廃棄物を削減できるよう支援しています。

埋め立てされる廃棄物の量を減らし、良質な食品を無駄にしないように徹底することで、気候変動の緩和に貢献し、天然資源への圧力を軽減しています。

2022年には、28か国の2,650以上の拠点で、食品廃棄物を28%削減したことを報告できることを嬉しく思います。

Waste Not 2.0

資源に限られた世界では、食品廃棄物への取り組みが不可欠です。進歩は、なぜ食品が廃棄されるのかを理解することから始まります。2030年までに食品廃棄物を半減させるという私たちの目標を達成するため、世界各地で新しいテクノロジーが役立てられ、それはまたクライアント様の廃棄物削減目標を達成することにも役立っています。

当社独自のシステムWaste Not 2.0のようなデジタルプラットフォームは、リアルタイムの記録とダッシュボード・レポートを活用し、各拠点の生産効率を高め、食品廃棄物が埋立地に向かわないようにしています。このツールはシェフにより、シェフのために作られたもので、キッチンで食品廃棄物を削減する機会を特定するのに役立ち、マネージャーには、データを分析して長期的な解決策を見つけるためのツールとして活用されています。

今年も、引き続き食品廃棄物測定ツールを私たちの各市場で展開を継続しました。



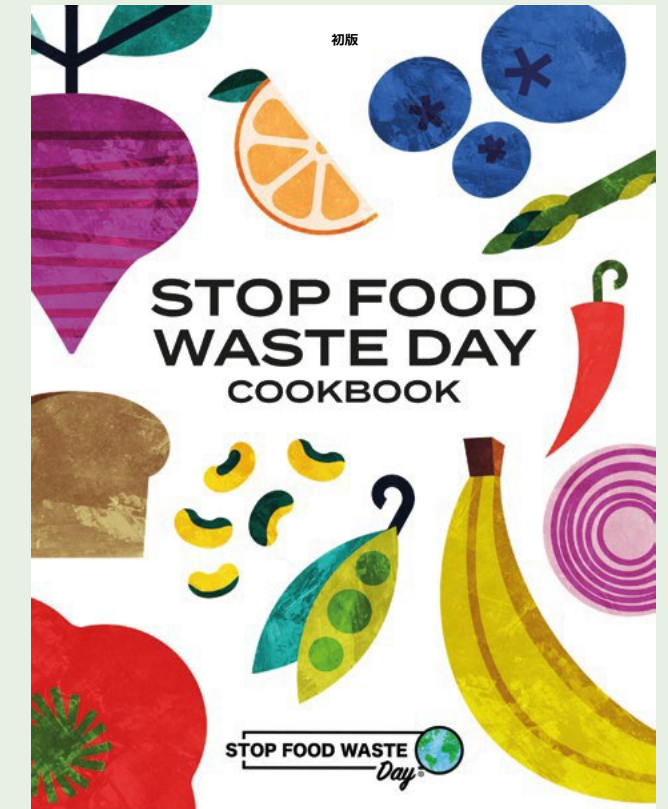
食品廃棄を測定する技術を導入した拠点が33%増加

ストップ・フード・ウェイスト・デー

私たちは、食品廃棄物と闘うために従業員にインセンティブを与えるだけでなく、グローバルなキャンペーンを通じて私たちの進歩を強調します。ストップ・フード・ウェイスト・デーは、世界規模で食品廃棄物の影響についての意識を高める運動です。今年、このキャンペーンは40か国以上のクライアント様との記録的なエンゲージメントを達成したと、同時に、実施したソーシャルメディアのキャンペーンでは、世界中で3,300万回以上のインプレッションを獲得しました。

また、コンパスグループの30か国にわたる45人のシェフによるレシピや食生活を見直すための便利なヒントを掲載したデジタルレシピ本を制作し、世界中のレストランでライブ・クッキングのデモンストラーションや教育ワークショップを開催しました。このレシピ本には、おいしい前菜、メインコース、デザートが幅広く掲載されており、それぞれが一般的に廃棄されがちな食材を使って作られています。

2030年までにグループ全体で食品廃棄物を半減させるための取り組みについては詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



進歩のためのパートナーシップ

食料廃棄と飢餓と闘うための世界的な取り組みは、政府、民間企業、市民社会との協力によってのみ成功につながります。だからこそ、私たちは国際食品廃棄物連合（IFWC）と連携し、食品ロスと廃棄物の問題に率先して取り組むというその使命に賛同し、誇りに思っています。IFWCの新たな理事会メンバーとして、私たちは参画企業と協力しながら、業界全体に恒久的な変化をもたらすことを目指します。食品を無駄にするのではなく、寄付できる場所では食品を再活用する方法に目を向けます。私たちは、調理済みの食品を安全に回収し、必要としている人々に新鮮で栄養価の高い食事を寄付するため、世界全体のさまざまな調理プログラムと連携しています。



提供する食品の気候への影響の計算と追跡

環境負荷低減に取り組むクライアント様が増える中、コンパスは、クラウドベースのダッシュボードを用いてリアルタイムにデータを把握し、クライアント様の目標達成を支援しています。それぞれのクライアント様特有の要件に合わせてカスタマイズされたこれらのダッシュボードは、クライアント様が環境への影響を理解するために必要なデータを示します。CO₂排出量や食品廃棄物の削減から、安全スコアや顧客満足度の追跡まで、クライアント様はそれぞれの持続可能性パフォーマンスについて進捗状況を日々確認することができます。

また、ダッシュボードは、クライアント様が決定的な行動を取ることを可能にします。カスタマイズされたダッシュボードの開発により、クライアント様の持続可能性目標の実現を支援するためにステークホルダーとどのように協力できるかを明確に示します。例えば、主要なパフォーマンス指標を可視化することで、クライアント様はキッチンでの廃棄物、エネルギー、水の消費量を削減したり、顧客データを活用してより明確な表示を行い、より多くの植物由来食品を選択することに貢献します。ダッシュボードは、持続可能性を組織全体の業務に組み込むのに役立ち、技術が発展するにつれて、世界中のより多くのクライアント様が持続可能性データをより正確に収集、分析、報告できるようになることを私たちは期待しています。

気候関連財務情報開示に関するタスクフォース（TCFD）

業界が低炭素経済に移行する中、気候変動が私たちの業務、クライアント様、戦略にどのような影響を与えるかを測定し、理解することは極めて重要です。2021年、コンパスグループは気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言を採用し、温室効果ガス排出量、内部炭素価格インターナルカーボン価格、移行リスク、物理的リスク、気候関連の機会や資本配分の測定に役立てています。当社の最新のTCFD開示では、気候関連のリスクと機会に対するエクスポージャーとレジリエンス（回復力・強靱性）を概説し、これらの効果的な管理に確信を持っている理由を説明しています。私たちは、外部の専門家と協力して、この分野における取り組みを拡大することにコミットしています。また、ネットゼロに向けた道のりを続ける中、進捗状況を伝えるため、定期的に透明性の高いTCFDの開示を行っていきます。

2022年のTCFD開示情報は[こちら](#)をクリックしてご覧ください。

食品サービス分野初のサステナブル・ボンド発行

コンパスは今年、2つのサステナブル・ボンドの発行し、それぞれ5億ユーロと2億5,000万ポンドを調達に成功しました。この調達された資金は、新しい持続可能な資金調達フレームワークに沿って、責任ある調達の強化、地元や多様なサプライヤーから購入する製品、グループのバリューチェーンにおける脱炭素化の支援やその他の支出に活用されます。新しい持続可能な資金調達フレームワークでは、長期的な気候ネットゼロの実現を支援することに加え、私たちが社会的、環境的責任を果たすための決定的な措置を講じていることも示します。サステナブル・ボンドによる調達資金は、まず、サプライチェーン内のフェアトレードおよび持続可能な商品の購入と追跡の拡大し、scope3の排出量を削減するとともに、多様かつ少数派のサプライヤーに資金を提供することを支援します。

調達に対する コミュニティアプローチ

社会的かつ積極的な調達は、より健全な地球のための変化を生み出します。だからこそ、私たちは可能な限り、地域社会に最大の変化をもたらすことができる場所に調達費用を投じています。オーストラリアで先住民のサプライヤーを支援するパートナーシップ、カナダで慈善団体WEConnectと協力して女性が経営するビジネスの機会を創出するに至るまで、私たちは地域社会、クライアント様、消費者、従業員にプラスの社会的影響を与えることを推進しています。また、米国ノースカロライナ州では、BIPOC（黒人、先住民、有色人種）の農家を支援するため、彼らが生産する旬の食材を取り入れたメニューを提供しています。



17億英ポンド

グローバルで現地の多様なサプライヤーから
購入した額





人権

私たちは、私たちの従業員、そして私たちのサプライチェーンで働く人々や私たちが事業を行う地域社会で働く人々の尊厳、ウェルビーイング、人権を尊重することの重要性と責任を認識しています。私たちは、人権プログラムの設計と実施を推進し、世界的な基準を高め、私たちが影響を与えることができる社会的平等性の向上に向けて、今年私たちが達成した進展を誇りに感じています。

2022年は、人権に関する方針を更新し、すべての社会的弱者の人権を尊重するという私たちの世界的なコミットメントを更に強化し、強制労働および児童労働に対する不寛容を強調しました。また、部門横断的な人権ワーキンググループを拡大し、20か国以上の全地域から代表者を加え、

雇用・平等・社会的影響に関する新しいグループディレクターを任命し、戦略的人権監視とリスク管理を任務とするサプライチェーン・リスク管理委員会も新たに発足しました。

12月には、国連ビジネスと人権フォーラムに招かれ、虐待や搾取の無いより公平な世界を作るための有意義な関与の重要性に関する見解を共有しました。特に、イモカリー労働者連合とそのフェアフードプログラムとの13年にわたる戦略的パートナーシップに焦点を当て、発表する機会に恵まれました。

この取り組みおよび当グループの2022年現代奴隷法に関する最新の声明について、詳細をご覧ください。

ネットゼロの森林破壊に向けて

「プラネット・プロミス」の一環として、森林破壊や土地転換のないグローバルなサプライチェーンの実現を目指しています。私たちは、グローバルで調達する製品に、持続可能なパーム油、大豆、牛肉、木材および紙素材の使用を増やし、さらにリスクの高い商品を見直し、対策を講じることでこの達成に努めます。コンパスグループは、キッチンでのパーム油を100%持続可能なパーム油にするという世界的な目標を設定し、このコミットメントに向けて順調に前進しています。

包装材とプラスチック

わたしたちは、食品の安全性を保ちながら、可能な限り不要なプラスチックの使用を排除することを目指しており、2022年も引き続き代替包装材を提供するとともに、クライアント様には再利用可能な包装材の使用を優先するよう働きかけています。私たちのビジネスは世界中で、プラスチックやバージン材料の使用を避けた再生可能な包装材の使用を促すソリューションを試験的に使用し、拡大するため包装材および調理技術を革新を続けています。また、クライアント様が使い捨ての地球に優しい持続可能な商品を調達するお手伝いができることを誇りに思っており、サプライチェーンを評価し、使い捨てプラスチックを排除するための革新的なソリューションを常に探しています。コンパスグループは、使い捨て素材削減(SUM'D)のメンバーであることに誇りに思っています。SUM'Dは、食品業界の使い捨て素材への依存を軽減するため、大手フードサービス企業、NGO、技術専門家が協力する業界横断的なグループです。

包装材を削減するために実施している方法についての詳細は当社のホームページをご覧ください。





積極的な調達と透明性の推進

私たちのクライアント様と消費者は、私たちがメニューに使用する食材の品質や産地についての透明性を評価しています。私たちが提供する食品が良質で、安全かつ責任を持って調達されたものであることを担保するためには、固プロセスを世界中の事業で組み込む必要があります。その作業において認証は重要な要素であり、必要に応じて、私たちが使用する原材料が地域の市場で適用される生産、品質、トレーサビリティの基準に準拠していることを示すため、第三者による検証を実施しています。

私たちは、地元の多様かつ少数民族のサプライヤーとの連携を引き続き拡大し、支援します。そうすることで、提供する料理の栄養価を最大限に高め、食品の移動マイル数を減らし、社会的価値を高めています。また、持続可能な食材を使用した、おいしく感動的な料理をクライアント様やお客様に提供し続けることができます。

福祉の推進

この1年は、世界的に食品サプライチェーンにとって想像できないほどに困難な一年となりました。主要なカテゴリーにおける商品不足、流通の混乱、労働力不足に直面しました。私たちは常にクライアント様と消費者を第一に考え、安全で安心なサプライチェーンを確保することに注力してきました。困難な年であったにもかかわらず、ケージフリーエッグへの世界的なコミットメントや、より福祉度の高い鶏肉に関する地域ごとのコミットメントを含め、家畜の福祉に関して前向きな進展を続けています。国際的な畜産動物福祉団体のコンパッションインワールドファーマーミング (CIWF) やグローバルフードパートナーズとのエンゲージメントに加え、私たちは、世界動物福祉連合の誇り高きメンバーでもあり、家畜動物福祉に関する企業のベンチマークでは、Tier3の評価を維持できたことを喜ばしく思っています。

再生農業の支援

土壌が健全であれば、より栄養価の高い作物が収穫でき、よりおいしく販売できる食材を作れることを意味します。そのため、私たちは、土壌浸食の管理、保水性の向上、雑草や病害の管理、生物多様性の向上によって再生農業の経済的な実行可能性を高める被覆作物など、土壌構造の再構築に役立つ一連の農業や放牧の実践を強く推奨し、再生可能な農業を強く支持しています。コンパスグループのシェフは、このような方法で栽培された食材をメニューに取り入れることで需要を喚起するとともに、サプライヤーの持続可能性を高メル支援をしていくことを使命としています。

ソイル・アソシエーション・エクステンジ

フードバイ英国およびアイルランドは、ソイル・アソシエーション・エクステンジ (SAX) と連携し、取引先農家がより再生可能かつ持続可能な農業手法に移行するよう支援しています。最初の試験的取り組みとして、5つの農場が生物多様性、水質、炭素隔離、土壌の健全性レベルに関する生態学的ベースラインと改善のための詳細な行動計画を提示されます。SAXのオンライン・プラットフォームでは、データを活用し、重要な環境指標に対する農家の影響をマッピングします。また、SAXの農業アドバイザーは農家と協力して事業の繁栄を支援し、農家が農法や生産性を最大限に活用し、土地を保護することで報酬を得られるようにします。参加した農家は、実施した変更に対して経済的報酬を得るため、再生農業への移行は事業の負担にはなりません。

私たちが持続可能なサプライチェーンをどのように維持しているのか、詳細は[こちら](#)をご覧ください。

地域社会の繁栄を支援

私たちは、従業員がコミュニティや持続可能な活動に参加する自由を与えることで、地域コミュニティを豊かにしています。私たちは雇用を創出するだけでなく、購買を通じて何千もの生活を支えており、継続的な投資により、多くの食品生産者や中小企業を支援してきました。また、食料の寄付、チャリティーのための募金等、前向きな変化を促進する団体の支援を行います。私たちのビジネスは、現地調達と社会的企業に戦略的に投資し、そのクライアント様やサプライヤー、その他のステークホルダーと提携します。また、世界経済人会議（WBCSD）の「ビジョン2050：転換の時代」の取り組みへの参加や国連食料システムサミットの協議にも貢献し、より公平で持続可能な食料システムを呼びかけています。

食品の寄付

廃棄されてしまうような質の良い食品を、必要とする人々に寄付することは正しいと考えています。私たちには、事業展開するすべての市場で食品回収パートナーを置いて、食料不足の人々に良質の食品を届けています。地域のフードバンクや食料配給所の支援から、余剰食品の寄付、子どもの食事プログラムへの参加に至るまで、私たちは最も大きな効果をもたらすためできる限りの寄付をします。これは私たちだけで行うことはできません。オペレーターが正しい行動を行いやすくするための様々なツールを開発しました。

☆フードレスキューのパートナーは、食品廃棄をなくす取り組みをより容易にするため、貴重な支援を提供し、食品回収を実施します。食品廃棄処理技術は、余剰食品をキッチンで確認し、地域コミュニティに寄付する機会を提供します。この1年、私たちが事業を展開する市場で130万食を地域コミュニティに寄付しました。



多様な人材の育成

私たちは、クライアント様、地域社会、消費者の多様性を反映した人材が多ければ多いほど、彼らのニーズに応え、私たちの目的を達成するための体制が整うと考えています。私たちは、グローバル・ダイバーシティ・プログラムを通じて、組織のあらゆるレベルにおいて、多様な従業員の才能を活用するため、懸命に取り組んでいます。すべての人にインクルージョンをという私たちのコミットメントの一環として、私たちのビジネスは多くのDE&Iイベントの主催、リバースメンタリング・プログラムの実施、言語、識字能力、計算能力に関する研修の実施を行っています。また、世界中で、Women in Culinary(料理界の女性)などのさまざまなコミュニティグループやネットワークを通じた女性の人材育成に努めています。これらのフォーラムは、有能な女性のキャリア開発を促進し、責任ある立場やリーダーシップある地位に成長することを支援します。

この分野に関する当社の進捗の例については、[ホームページ](#)をご覧ください。



健康とウェルネスの支援

長年にわたり、私たちは人や地球の健康をサポートする食品の提供において業界をリードしてきました。すべての市場において、研究と科学に裏付けられた基準を使用し、各国の食事指導や世界保健機関（WHO）のガイドラインなど、健康的でより持続可能なメニューを設計しています。健康的なメニューの選択肢は、世界全体にある私たちの拠点の既に90%で提供されています。私たちのビジネスは、消費者が健康的な食事を簡単に選択できるようにするために少しずつ変化を及ぼす戦略を採用しながら、この目標を達成するために懸命に取り組んでいます。また、私たちが事業を展開するすべての市場において、健康を推進する食事、フード「ファーマシー」の推進、処方プログラムの作成、コミュニティや敷地内の菜園の有効活用を提供する多くの取り組みを監督しています。

コンパスグループの健康とウェルネスに関するコミットメントについての詳細は、[ホームページ](#)をご覧ください。



コンパスグループ基金

人々の生活を向上させるという私たちのミッションを支援するために、コンパスグループはコンパスグループ財団を設立し、雇用機会の創出、現地サプライヤーの支援、世界的な緊急事態の際の緊急支援に努めています。2022年、当財団は災害緊急委員会（DEC）のウクライナ人道支援アピールに25万英ポンドの初寄付を行いました。世界中の当社の事業や従業員からユニセフ、ACNUR、ワールド・セントラル・キッチンなどの慈善団体への個人寄付を合わせると、コンパスファミリーからの資金援助は総額約50万ユーロと推定されます。また、財団では、インド、英国およびアイルランド、フランス、米国、トルコのオフィスと試験的に提携し、ボランティア活動や非営利団体への資金提供を通じて地域社会を支援しています。

インド、トルコ、スペインでは、様々な障害を持つ人々や恵まれない環境にある人々が、雇用機会を得られるようなスキルを身につけるための訓練を行う慈善団体を支援すると共に、彼らの食品とホスピタリティ分野への貢献についての認識を高めています。米国では、小規模農家を対象に食品安全計画と持続可能な農業の実践を支援し、市場へのアクセスを向上させています。英国では、食の不安や孤立のリスクを抱えている人々を支援するために、コミュニティキッチンを運営するボランティアのスキルアップに資金援助しています。

「私たちのミッションは、教育とイノベーションを通じて人々の生活を向上させ、食の未来において重要な役割を果たすことができるようにすることです」

コンパスグループ財団は、イングランドおよびウェールズで登録された、登録番号1187218の慈善団体です。



パートナー

私たちの戦略的パートナーシップは、私たちをより強くします。最も影響力のある変化を生み出すために、私たちは主要な業界団体、NGO、政府、その他の世界的な組織と協力して、食品に関連する社会や環境への影響に取り組んでいます。

	<p>2004年以降、私たちは国連グローバル・コンパクトに取り組んでいます。</p>		<p>私たちは責任ある大豆に関する円卓会議のメンバーです。</p>
	<p>2019年からは、持続可能な開発のための世界経済人会議の加盟機関となりました。2021年に「ビジョン2050：転換の時代」に署名しました。</p>		<p>世界水産物持続可能性イニシアチブのファンディング・パートナーです。</p>
	<p>2021年には、前英国皇太子が始めた持続可能な市場イニシアチブのテラカルタの署名機関になりました。</p>		<p>私たちは、世界動物福祉連合（GCAW）の創設メンバーです。</p>
	<p>EATフォーラムのパートナーとしての活動にも引き続き注力します。同フォーラムは、地球とその資源の保護に向けた変革に取り組む非営利団体です。</p>		<p>2021年6月、スレーブフリー・アライアンスに加盟しました。</p>
	<p>持続可能なパーム油のための円卓会議のメンバーとして活動しています。</p>		<p>2022年9月には、国際食料廃棄連合（IFWC）に参画し、当社のサステナビリティディレクターが理事会に加わり、食品廃棄に対する取り組みを強化しました。</p>
	<p>食品廃棄物の撲滅に取り組む米国の非営利団体ReFEDと提携しています。</p>		<p>私たちは、国際的な畜産動物福祉団体のコンパッションインワールドファーマーミング（CIWF）のメンバーです。</p>

SPEAK UP!

We're listening



誠実さとは、私たちの行動、姿勢、決定を通じて私たちの価値を体現し、正しいことをするための品性と勇気を持つことです。

スピークアップ・ウィーアーリスニングは、誰もがアクセスできる機密報告プログラムで、365日年中無休で利用でき、他の事業部門から独立したチームであるグループの倫理と公正性チームが管理しています。

私たちは、何かおかしいと感じることがあれば自分の直感に従うという原則を奨励します。

詳細については、コンパスグループのホームページをご覧ください。懸念を表明する場合は、スピークアップ・ウィーアーリスニングのポータルサイトにアクセスをお願いします。



Compass Group PLC
Compass House, Guildford Street
Chertsey, Surrey KT16 9BQ
United Kingdom

問い合わせ先：
sustainability@compass-group.com
T +44 1932 573 000
www.compass-group.com

イングランドおよびウェールズ
で登録済み 登録番号4083914

2023年1月



「今こそ行動を起こす時です。」

目的を持った**パートナー**として、

コンパスは2050年までに
ネットゼロを達成するための
真の進歩を遂げており、
私たちのクライアント様が
それぞれの
環境・社会コミットメントを
実現できるように支援します。

